

イタリア旅行紀行

いしかわまさこ
石川万佐子

わたし おすこ ゆうたろう やまだちよか さゆん
私は息子の裕太郎と山田千代香さんの三人で
気儘なイタリア旅行に出掛けました。15日間の旅行
です。

まず、フィレンツェに行きました。

フィレンツェでの初日は、街をぶらぶらしようと出掛け
ました。フィレンツェの象徴である大聖堂が見えてしま
した。白、ピンク、グリーンの大理石で作られ、彫刻が
施されていて、その美しさは、
荘厳そのものでした。
175年も掛かって作られ
た教会に、私はすか
り、見惚れてしまいました。

こんかい たくさん きょうかい
今回、沢山の教会を
おとず
訪れましたが、どこの
きょうかい
教会もシーンとして、



フィレンツェ花の聖母教会 ドゥオーモ

しずか^{しず}かで、美しく澄み切った空気が心の中に染み
運んでいきました。そして心が癒やされていくのを
感じました。教会に何時までも居たい気持ちで
した。



毎日食べたラビオリ



ヴェッキオ橋から見た風景



フィレンツェの夜景をバックに記念撮影



ホテルの朝食

美術館にも沢山行きましたが、ウッフィツ美術館
のボッティチェリの「春」の絵が一番好き
でした。その絵はとても大きなものでした。等
身大の絵です (203×314cm)。



『春』 ボッティチェリ作

「春」の絵は表現の細やかさ、空気の透明感、布地の表現の美しさにとっても感銘を受けました。

日本に戻り芍薬の絵を描きましたが、三回も書き直しました。私の絵に、なかなかならなかったからです。イタリアの沢山の絵に会い、私は少し変わり始めたような気がします。